

# 令和3年度 高冷地水稻生育速報(第3報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(7月1日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
たかやまもち	本年	46.1 (90%)	584 (102%)	4.2 (-0.1)	39.4 (+2.1)	10.1 (+0.5)
	前年	55.5	637	4.2	37.4	10.0
	平年	51.5	570	4.3	37.3	9.6
あきたこまち	本年	48.8 (96%)	584 (106%)	4.4 (-)	42.4 (+3.1)	10.4 (+0.7)
	前年	53.7	561	4.7	39.9	10.2
	平年	50.6	553	-	39.3	9.7
ひだほまれ	本年	48.4 (88%)	433 (83%)	3.8 (+0.0)	37.4 (+2.5)	9.7 (-0.5)
	前年	58.9	582	3.7	33.5	10.6
	平年	55.0	520	3.8	34.9	10.2
ひとめぼれ	本年	47.1 (94%)	644 (91%)	4.3 (+0.1)	40.5 (+2.8)	9.8 (+0.0)
	前年	54.3	761	4.2	34.3	10.0
	平年	50.2	704	4.2	37.7	9.8
コシヒカリ	本年	49.0 (90%)	608 (94%)	4.3 (+0.1)	39.8 (+2.2)	9.4 (-0.5)
	前年	58.0	733	4.2	37.3	9.8
	平年	54.2	645	4.2	37.6	9.9

栽培条件: 移植5月14日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間(H28年~R2年)の平均値  
( )内の数値は対平年値

## 2. 気象状況と当面の管理

### 1) 気象概況

6月の気温は平年並みに推移しており、日照時間もほぼ平年並みであった。

### 2) 生育概況

草丈は平年より低く、茎数は平年並み~平年より少ない。GM値は平年よりやや高い。

### 3) 病害虫等の発生状況

イネドロオウムシの発生が見られる。発生数が多いほ場については防除の検討をする。

### 4) 今後の管理

「中干し」は生育促進、土壌中のガス抜きの効果がある。また秋作業を楽にするためにも、7月上旬までに実施するようにする。中干し後は間断灌水を行う。また、健全な生育のため、7月上旬までにケイ酸カリを施用する。

## ○良食味米栽培について(米コン出展予定の方へ!)

本年は茎数がやや少なく推移しており、このままいくと収量が低下する可能性があります。このような年に穂肥を例年どおり施用してしまうとタンパク質含量が高くなり、食味が低下してしまいます。

良食味米を目指しているほ場で、例年より茎数が少ないほ場については、穂肥を減らすことを検討しましょう。ただし、収量は低下する可能性があるためそれを含め検討をお願いします。

また、葉色が濃くならない、株が小さいほ場で中干しをしていない場合は、ただちに中干しを行い、生育を促進させましょう。

# 令和3年(2021年)の気象図

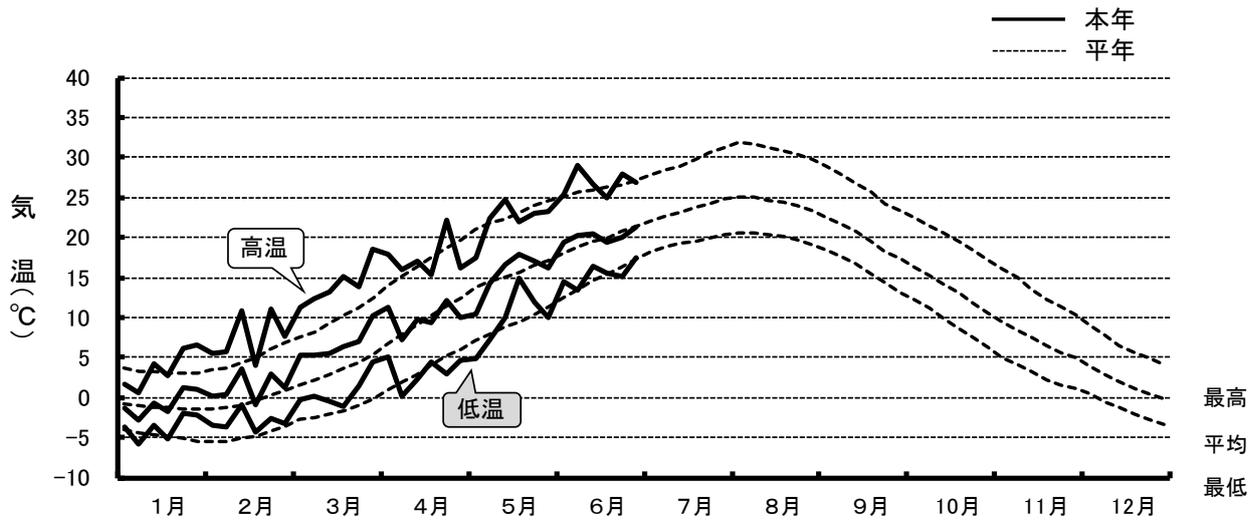


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

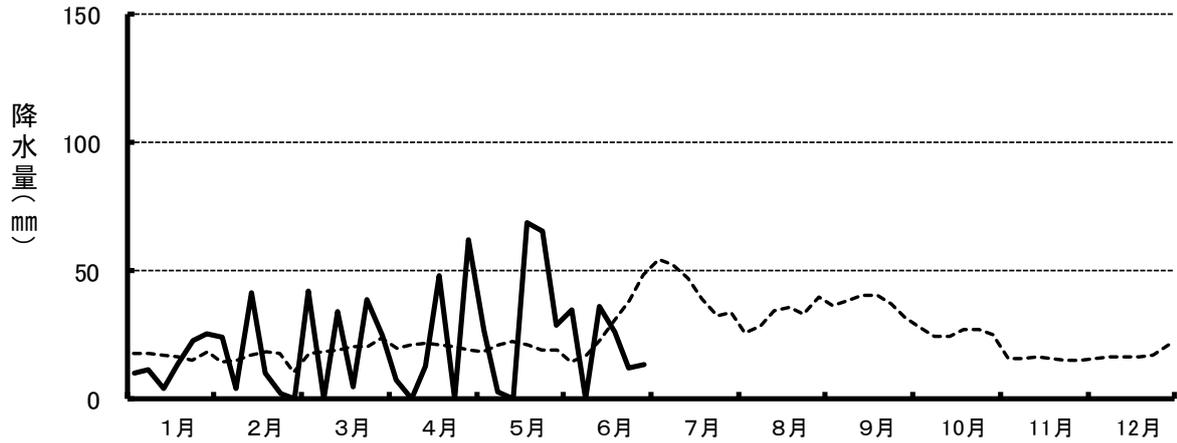


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

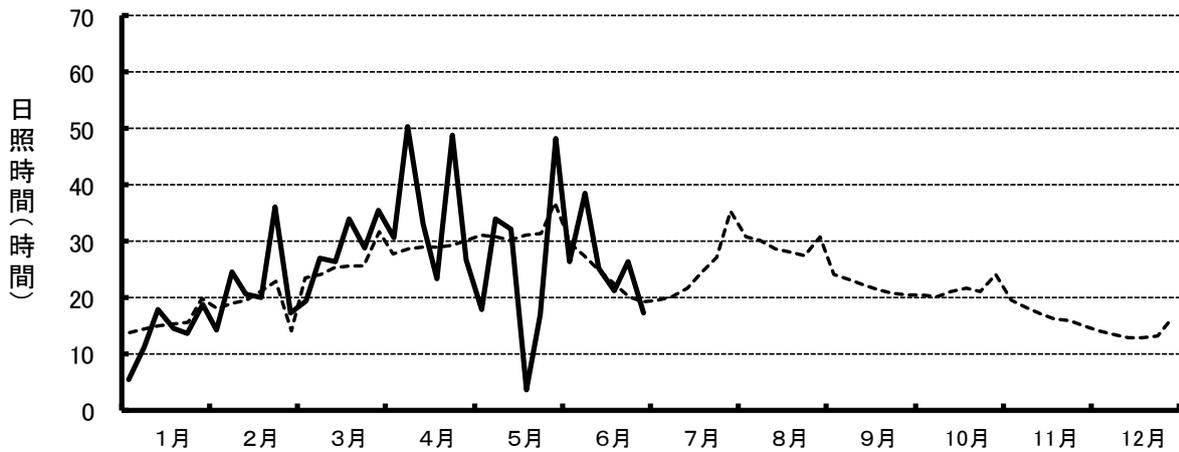


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所